

| | | | | |
|--------------|------------|-----------|-----|-----|
| 国労本部電送 No. 1 | 発信日 | 発信 企画部 | 責任者 | 受領者 |
| | 2021年7月16日 | | | |

指令第1号

2021年7月16日

エリア本部
各 執行委員長 殿
地方本部

国鉄労働組合
中央執行委員長 松川 聡

2021年度中央執行委員会の成立について

国労は、第90回定期全国大会を7月15日～16日に新橋交通ビルにおいて開催した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今大会もリモートを併用しての開催となったが、大会では、JRやグループ・関連会社の職場で働く仲間の切実な声を受け止め、一致団結してこの難局に立ち向かいながら労働条件向上や処遇改善、安全・安定輸送の確立、さらにはJR北海道・四国・貨物会社に対する持続可能な支援策の確立とJR九州の安定経営に向けた助成策の継続、自然災害からの鉄道復旧や基幹的輸送機関としての地方交通線の維持・活性化など直面する課題に取り組みながら国労運動の更なる発展をめざし、満場一致で向こう一年の運動方針を決定した。

また、コロナ禍のなかで企業倒産による解雇や「派遣切り」、労働条件の一方的引き下げが進むなか、2022年春闘勝利、憲法改悪を許さない闘い、沖縄・辺野古新基地建設と原発再稼働反対、社会的格差の是正と非正規労働者の雇用・労働条件改善と労働者保護ルール確立など、厳しい情勢下にあつて国労が中央・地方において共闘と連帯を拓けながら山積する諸課題に粘り強く取り組む決意を新たにした。

さらに大会ではオンラインを活用した遠隔会議システムによる会議の成立や議決について、規約・規則の一部改正を行うとともに、2012年から取り組んできた「闘争指令第1号」の成果と課題を総括しながら、来年の「5年ビジョン」

の中間総括に向け、これからの国労を担う世代に運動と組織・財政を継承・発展させるために、組織が一丸となって議論と意思統一を深めていく重要性について認識を共有することができた。

本部は、本日、第1回中央執行委員会を開催し、中央執行委員会の成立と当面する闘いの展開について決定したので、以下のとおり指令する。

《指 令》

1. 中央執行委員会の成立について

| | | |
|----------|--------|----------------------|
| 中央執行委員長 | (専) 松川 | 聡 (総括、政治・共闘担当) |
| 中央執行副委員長 | 木村 | 忠義 (業務・法対部長、共闘担当) |
| 書記長 | (専) 岩元 | 孝信 (企画部長、政治・共闘担当) |
| 中央執行委員 | 宮崎 | 浩則 (総務・財政部長、組織・共闘担当) |
| 〃 | 鈴木 | 郁夫 (組織部長、業務担当) |
| 〃 | 瀧口 | 良二 (教宣部長、共闘担当) |
| 〃 | 辻 | 将城 (調査部長、貨物・共闘担当) |
| 会計監査員 | 馬橋 | 博一 |
| 〃 | 羽生 | 隆盛 |
| 〃 | 広瀬 | 裕二 |

2. 当面する闘いの展開について

- (1) 各級機関は、全国大会で決定した方針を、全機関・組合員に徹底し、闘いの前進を図ること。
- (2) 各エリア・地方本部は、10月末を目途に大会を終了し、機関整備を図ること。
- (3) 安全・安定輸送と健全な労使関係の確立にむけた闘いに全力をあげること。
- (4) 期末手当、労働協約など秋季年末闘争に全力をあげること。
- (5) JRに働くすべての労働者の労働条件向上と職場環境・待遇改善を求める闘いに全力をあげ、最重要課題である組織の強化・拡大を図ること。
- (6) 中央闘争委員会を設置する。

以 上